

秋の星空

「秋の夕日はつるべ落とし」と言われますが、秋になると夕日が早く西の地平線に沈み、その分夜の時間が長くなるので、星を見るには楽しい季節です。夏のキラキラした星座たちが西に傾き、代わってペガサス座・アンドロメダ座など落ち着いた星座のある秋の星座が天空をおおいます。

――＜10月の星空カレンダー＞――

2日(土) ①下弦の月

9日(土) ②新月

ジャコビニ流星群活動

17日(日) ③上弦

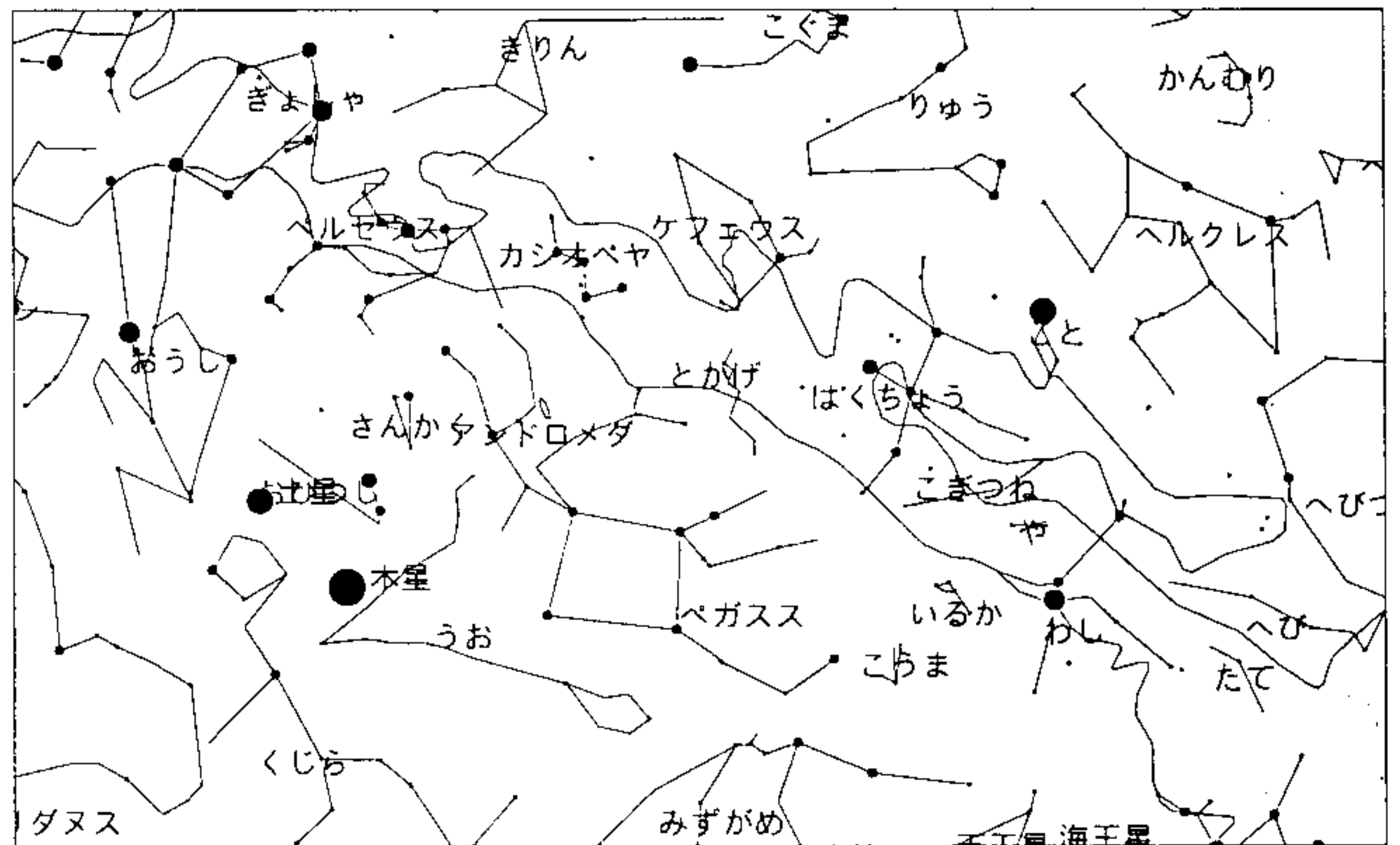
24日(日) 木星が衝(観測好期)

25日(月) ④満月

水星が東方最大離角

31日(日) 金星が西方最大離角

右の星図は、10月中旬
夜9時ごろ、南の方向を中
心に見た星空です。
東天に明るく輝く星が木星
そして、そのすぐ東側にや
や明るい星が土星です。



【金星】31日西方最大離角を迎える金星は、
明け方の東天でマイナス4.5等で輝きます。
とても明るいので、夜明け前の東天を見よう。
【火星】南西天の空に夕方見ることができます。
サリ座の一等星アンタレスの赤と色合いを見て下さい

【木星】一晩中見ることができる木星はおひつ
し座からうお座に移動します。25日には、
月のすぐ近くに輝きます。
【土星】木星の東に0等級で輝きます。夜半過
ぎに南中します。神秘的な環が魅力的です。

天馬ペガサスを見よう!!

秋は天馬ペガサスが天頂をおおい、そのすぐ近くにはアンドロメダ座を見ることができます。このペガサスという星座は北半球で見た場合に、上下逆さまになっていて、ペガサス座の胴体の部分には4個の星が大きな正方形をつくって並んでいます。これをペガサスの四辺形と言いますが、夜空の暗い場所ではこの四辺形の中に星々を見ることができます。この四角形は馬の胴体になり、よく見るとその四角形から首と前足が伸びているのがわかります。

このペガサスは「エチオピア王家の物語」にアンドロメダ姫を助け出した勇士ペルセウスの一連の物語に登場します。

ペガサスの四辺形から、東よりへ星をたどるとアンドロメダ座になります。古代エチオピアのお姫様の星座です。アンドロメダ座のすぐ隣にはW字型の星の並びで知られる、カシオペア座、これはアンドロメダ姫のお母さんの星座です。